

えいせい

NO. 43 2011年7月5日発行
発行責任者 森越 初美
TEL 03-5320-7412(直)
内線 63-210
FAX 03-3349-1502
Eメール info@eiseikyoku-shibu.com
URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

1 今回の節電方策に関して

(1) 執務室照明の1/2削減で300ルクス以下がある。一律取り外しに問題があり改善を求める。

(答) 執務室照明については、蛍光管の間引きにあわせ、残置蛍光管のHf蛍光管への取り替えを実施し、既存の蛍光管4本の80%程度の照度を確保している。このため、基本的には300ルクス以下の場所は生じないと考えているが、基準を下回る場合は個別に対応する。

(2) 執務室以外の廊下等一部暗い場所があるが事故等発生のおそれがあるので、一定の明かりの確保を求める。また、暗いところについてスポットライト等の設置を求める。

(答) 廊下については、照明電源の関係で、スポット的に点灯することはできない。

(3) 消灯時間の執務で、安全衛生基準は守られているのか。

(答) 安全衛生基準に満たない場合は、必要に応じて再点灯していただきたい。なお、今後、消灯時間の執務環境改善のため、卓上LEDライトを配布する予定である。

(4) 休憩時間の一斉消灯時間は12時から13時に変わりはないのか。

(答) 消灯時間帯は変更せず、12時から13時とする。

(5) 消灯時間中での「必要であると判断した場合」の再点灯を良しとすることについて再確認する。

(答) 安全衛生基準に満たない場所は、必要に応じて再点灯していただきたい。

(6) 給茶器の3/4休止について職場実態に見合った稼働を求める。また、現行のままであるなら、自動販売機の稼働を求める。

(答) 「東京都電力対策緊急プログラム」に基づく節電対策の一環であり、3/4休止の変更は考えていない。なお、職員に過度の負担がかからないよう配慮し、給茶器設置状況によっては個別の対応を行っている。

(参考)

・第一庁舎33階以上は南北1台ずつ稼働

・第二庁舎5階は職場実態(交通・水道・下水道)にあわせ、3台稼働

6月30日都庁職の「勤務時間・休憩時間の臨時変更について」の質問に当局が回答 給茶機が各フロアに一台、自動販売機が休止、室内の温度上昇 節電が続くなか職員の健康状態(熱中症)が心配

(7) 正面玄関等の開庁時間が7時になったが、安全管理上の対応策を示していただきたい。

(答) 午前7時の開門からの立哨、各出入口及び庁舎内の巡回を行っている。

(8) 朝・休憩時間のエレベーター稼働の増を求める。特に1型の出勤時間帯と11時30分の休憩時間帯が混雑している。

(答) 混雑状況については確認する。

(9) 温度・湿度の管理をきちんと行い、特に窓際においては28度を超えてしまう。断熱フィルム等の対応で、職員の健康管理を行うこと。

(答) (断熱フィルム等について)

窓際においても、きめ細かな温度監視や室温調整を行うなど、執務環境の維持に努める。なお、ブラインドを利用することで、温度上昇を抑制する効果があると考え

る。また、遮熱フィルムについては、ガラスの破損(熱割れ)のおそれがあるため、採用は考えていない。

(健康管理について)

健康管理については、熱中症対策についてリーフレットを作成し、職員に注意を呼びかけたところである。

(10) 時間外の空調について、希望通りの稼働を求める。

(答) 時間外の空調については、従前通り、超勤命令に伴う空調運転を行う。

(11) 休憩時間の保障の為、場所の確保を求める。

(答) 職員が自席で休憩しやすい雰囲気づくりを行なっていく。

2 「勤務時間・休憩時間の臨時変更」に関して

(1) I・II・Ⅲ班の振り分け状況について示していただきたい。

(答) 6月22日の検証の場で示したとおり、I型514人、II型2,739人、Ⅲ型3,550人で、割合としてはそれぞれ7.5%、40.3%、52.2%であった。

(2) 定時退庁について、職場対応の実施状況(定時退庁推進員の活動)はどうなっているのか示していただきたい。また、事前の超勤命令は徹底しているのか。

(答) 6月6日の試行開始以降、定時退庁推進員等については、副推進員を含め課長級170名が任命されており、輪番定時退庁日、全庁一斉定時退庁日に18時30分の時点で各部を巡回し、在席状況を目視で確認している。

在席していた職員は1割前後にとどまっており、従前の定時退庁日と比較しても、定時退庁は徹底されていると認識している。

超過勤務命令にあたっては、これまでも、超過勤務等命令簿により事前命令、事後確認を行ない、適正な運用を図っているところである。

(3) 個人事情によるⅠ・Ⅱ・Ⅲ班の振り分けの考慮者はどの位いたのか。

(答) 所属において公務運営上の支障の有無及び個別の事情を踏まえ、適切に振り分けを行なっているものと考えている。

(4) 本人の希望でのA、B、C班の選択について柔軟な対応を求める。

(答) 既に申し上げているとおり、保育園への送迎、遠距離通勤、通院等の諸事情を抱える職員から申し出があった場合、所属長はその申し出を尊重し、当該職場に設定された区分の中から適切な区分を指定する、これまでの考え方に変更はない。

(5) 休憩時間の12時から13時の選択も認めてもらいたい。

(答) 勤務時間の割振り及び休憩時間は、職員が選択するものではなく、公務運営に支障が生じないよう、命令権者が各職員に勤務時間の割振り及び休憩時間を指定するものである。

(6) 来庁者に対する時差勤務の周知の徹底を求める。

(答) 今回の取組について都民や来庁者にご理解いただけるよう、執務室入口付近や窓口等に、節電対策を実施中である旨、案内を掲示している。

執務室の各フロアについては、各職場での都民対応等の実態に応じ、ポスター

★革新懇人間講座		★病院・衛生局支部野球大会		★参加希望の方は支部まで連絡ください		★原水禁世界大会		★支部つり大会		★非核平和をうたうつどい		★大丹波川国際虹マス釣り大会(青梅線川井駅)		★日本教育会館13時		★山田洋次監督講演		★日比谷公会堂		★参加費は支部負担半券を支部までお持ちください	
場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時	場所	日時
場所	7月18日(月祭)	場所	8月7日から9日	場所	8月27日(土)	場所	8月6日(土)	場所	8月7日(土)	場所	7月16日(土)	場所	午前10時	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分
場所	7月18日(月祭)	場所	8月7日から9日	場所	8月27日(土)	場所	8月6日(土)	場所	8月7日(土)	場所	7月16日(土)	場所	午前10時	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分	場所	午後6時30分

ボランティアで現地の方と一体感

今回、6月27日～7月1日の日程で陸前高田市におけるボランティア活動に行ってきました。テレビ等で津波が残した爪あととは見ていましたが、実際に広田地区を訪れた時は想像していたよりも被害の大きさにびっくりしました。ボランティア内容というのは、ボランティアセンターにおける交通整理、区長宅への広報の配布、排水溝や田んぼの瓦礫撤去、塩害被害で枯れてしまった竹を切り倒す作業等、色々な活動をやらせていただきました。

広報の配布をしている時などは、「どこからボランティアに来てくれたの？ありがとう」などと声をかけてくれたことで、「ボランティアに来て本当に良かったな！」という思いになりました。正直、現地に入るまでは、どこまで力になれるのかが不安でしたが、出来る事を一



生懸命やることで自分なりの充実感を持って帰ることが出来ました。貴重な体験をさせていただきまして、有り難うございました。

各地方自治体では、引き続き2陣3陣とつながっているそうなので、衛生局支部も多くの方達に行ってもらえたらと思いました。

動物愛護相談センター
城南島出張所 森田 和憲

生協からのお知らせ きょうお昼休み(7/5) ☆サクランボ(山形県天童市佐藤錦)

500g 1,600円 組合員
1,800円 その他

予約受け付けます(支部まで連絡ください)

衛生局支部書記局 27 階南側

※本庁舎以外で取り組む場合は予め連絡ください。

福島原子力発電所災害を 考える

日時 7月6日(水)
午後6時30分～
場所 都庁職大会議室(都庁第2庁舎32階)
講師 舘野淳氏(元日本原子力研究所、元中央大学教授、核・アレルギー問題情報センター事務局長)

